

令和7年度 技術情報第7号
水稲 ナガエツルノゲイトウ

令和8年2月25日
静岡県病虫害防除所長

近年、水田において、特定外来生物であるヒユ科多年生雑草のナガエツルノゲイトウの発生が増加しています。

水田で本種が繁殖すると、競合による収量の減少や農業機械の作業性の低下などがもたらされます。

切断された茎や根で増殖するため、刈払い機等の機械除草ではなく、除草剤での防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

- (1) 2010年に、特定外来植物生息分布調査において、本県の水系での発生が確認された。
- (2) 2021年には、県東部地域の水田で、2023年には中部地域の水田で発生が確認された。
- (3) 2025年には、東部地域、中部地域で発生が拡大している。
- (4) 2026年には、更なる発生の拡大が予想されるため注意する。

2 本種の生態

- (1) 同種は南米原産のヒユ科の多年生雑草である。
- (2) 開花期は4~10月だが、国内で発生している系統は種子をつけず、節を含む切断茎や根の断片からの栄養繁殖により増殖する。
- (3) 茎の再生力が強く、1cm以上の断片から容易に発根して増殖する。
- (4) 茎はちぎれやすく、水に浮き、断片が用水や河川を介して運ばれるため拡散しやすい。また、水陸両生で、水田だけでなく畦畔や畑地にも侵入する。
- (5) 気温が4℃以下で生育が止まり、霜が数回あると地上部は枯れるが、地中深くの根は、氷点下以下の冬の寒さにも耐え越冬する。

3 水田における防除対策

- (1) 同種の発生が確認されている水田畦畔では、刈払い（機械除草）による茎断片の拡散を防止するため、除草剤中心の管理を行う（表1）。
- (2) 発生が確認された水田（移植水稲の本田防除）では、生育に応じて有効成分にピラクロニルまたはフロルピラウキシフェンベンジルを含む除草剤で防除する（表2）。
- (3) イネ収穫後の水田（水田刈跡）におけるナガエツルノゲイトウ再生個体に対しては、非選択性茎葉処理型除草剤（ラウンドアップマックスロードなど）で防

除する。

- (4) 除草剤中心の管理においては、除草剤の使用前にラベルの表示（登録内容や使用上の注意事項など）を確認する。特に成分ごとの総使用回数に注意する。
- (5) 農機具に付着した本種を含む土等から拡がる恐れがあるため、同種の発生していないほ場から作業を開始する。また、同種の発生しているほ場での作業後は、他のほ場へ移動する前に農機具（ロータリー等）の土（草）をしっかりと落とす。
- (6) 特徴・見分け方等は、添付の農研機構「豊かな農地を守るためにナガエツルノゲイトウの侵入・定着を防ぎましょう」を参照する。また、農研機構「[水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル](#)」に防除体系等が紹介されているため参考とする。

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/suiden_nagaetsurunogeito_bojo_manual_a.pdf

4 本種への対応にかかる注意点

- (1) 同種は外来生物法の特定外来生物に指定されており、拡散を防ぐため、栽培、保管、運搬、野外への放出・植栽が禁止されている。また、駆除を実施する際に手続き等が必要になる場合があるため注意が必要である。

※農林水産省、環境省、農業・食品産業技術総合研究機構「[ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル](#)」

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/nagae-33.pdf

5 その他

- (1) 薬剤の選択に際しては総使用回数に注意する。
- (2) 水田への被害は確認されていないものの、特定外来生物に指定されている「オオバナミズキンバイ」が西部地域の水系で確認されており、今後、注意が必要である。

※農林水産省「[農業水利施設に被害を及ぼす恐れのある外来種（オオバナミズキンバイ）](#)」

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/gairai-9.pdf

- (3) 不明な点については、病虫害防除所、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

表1 水田畦畔におけるナガエツルノゲイトウに対する主な除草剤

作物名	農薬名	農薬の種類	使用時期	本剤の使用回数
水田作物 (水田畦畔)	ラウンドアップ マックスロード	グリホサートカリウム 塩液剤	収穫前日まで (雑草生育期)	3回以内
水田作物 (水田畦畔)	ザクサ液剤	グリホシネート P ナト リウム塩液剤	収穫7日前まで (雑草生育期)	3回以内

表2 水田におけるナガエツルノゲイトウに対する主な除草剤

作物名	農薬名	農薬の種類	使用時期	本剤の使用回数
移植水稻	エンペラー 1キロ粒剤	ピラクロニル・ピリミノバツ クメチル・フェンキノトリオ ン粒剤	移植時 移植直後～ノビエ3葉期 但 し、収穫 60 日前まで	1回
移植水稻	テッシン 1 キロ粒剤	ピラクロニル・フェンキノト リオン・ベンスルフロンメチ ル粒剤	移植時 移植直後～ノビエ2.5葉期 但 し、移植後 30 日まで	1回
移植水稻	サキガケ楽 粒	イプフェンカルバゾン・テフ リルトリオン・フロルピラウ キシフェンベンジル粒剤	移植直後～ノビエ3葉期 但 し、移植後 30 日まで	1回
移植水稻	ストレング ス 1 キロ粒 剤	テフリルトリオン・トリアフ ァモン・フロルピラウキシフ ェンベンジル粒剤	移植後 5 日～ノビエ4葉期 但し、収穫 30 日前まで	2回以内
移植水稻	カチドキZ 1キロ粒剤	プロピリスルフロン・フロ ルピラウキシフェンベン ジル粒剤	移植時 移植直後～ノビエ3葉期 但 し、移植後 30 日まで	1回
移植水稻	ロイヤント 乳剤	フロルピラウキシフェン ベンジル乳剤	移植後 20 日～ノビエ5葉期 但し、収穫 45 日前まで	2回以内



図1 水路での繁茂状況



図2 本田での繁茂状況

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>



豊かな農地を守るために ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物※）の 侵入・定着を防ぎましょう

※外来生物法で指定された、生態系や農林水産業に被害を及ぼす海外起源の生物。栽培・移動等は許可が必要。

ナガエツルノゲイトウ（ヒユ科）

学名： *Alternanthera philoxeroides* 長柄蔓野鶏頭

- 南米原産の多年草
- 河川や池で大群落を作り、水面をマット状に覆う
- 茎がちぎれやすく、節や根から活発に再生して拡散しやすい
- 各地で農業被害をもたらしている

刈払いによって繁茂



農業被害の例



水利施設

水路を閉塞し
取水・排水を阻害



水田

農地に定着すると
減収の要因に



畦畔

ナガエツルノゲイトウの特徴・見分け方

☑ 小さな断片から増殖



茎断片から萌芽



根断片から萌芽

☑ 夏から秋に開花

☑ 小さな白い花が球状に集まる

☑ 細長い花柄がある

☑ 花柄は葉の脇から伸びる



球状の花
直径1~1.5cm

1~4cmほどの
長い花柄

葉のつけねから伸びる

☑ 葉は対生



節から一対の葉

☑ 葉の先はやや尖る

☑ 先端に近い部分が（ストロー状）

最も幅広い



☑ 茎はなめらかで
ざらつかない



節に短い毛

間違えやすい植物

ツルノゲイトウ



• 葉は中央付近が最も幅広い
• 球状の花は葉のつけねに密着

タカサブロウ類



• 茎に細かい毛
• 葉の縁はぎざぎざ
• 花は平たい

スベリヒユ



• 葉の先は丸い
• 葉は互生（交互につく）
• 花は黄色

～ナガエツルノゲイトウの水田での防除～

水稲移植後にピラクロニル含有剤とフロルピラウキシフェンベンジル含有剤を体系で処理することで、ナガエツルノゲイトウがまん延する水田で効果的に防除ができます。

本田内での有効な除草剤の散布事例

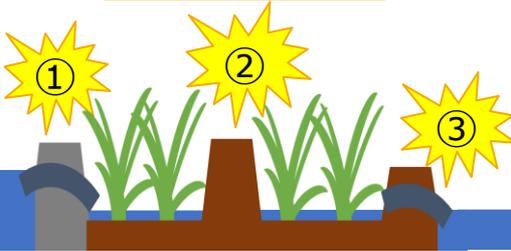
時期	ナガエツルノゲイトウ	除草剤散布体系 1	除草剤散布体系 2	作業上の注意	
代かき*	<div style="text-align: center;">再生始</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">生育期</div>	<div style="text-align: center;">ピラクロン 1キログラム粒剤 (ピラクロニル粒剤)</div> <div style="text-align: center;"> Weedコア 1キログラム粒剤 (フロルピラウキシフェンベンジル・ペノキススラム・ベンゾビシクロン粒剤)</div>	<div style="text-align: center;">バッチリLX 1キログラム粒剤 (イマズスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル・プロモブチド粒剤)</div> <div style="text-align: center;">ロイヤント乳剤 (フロルピラウキシフェンベンジル乳剤)</div>	<p>丁寧な代かきで切断茎や根を小さくして完全に埋め込む</p> <p>未侵入の圃場での作業を先に行う。侵入農地での作業後は泥落としなどの農機の洗浄を徹底する</p> <p>* 落水時には水尻にザルを設置</p>	
田植え					草丈が2cm以下
田植え後 20日					草丈が5cm以下
田植え後 40日					草丈が35cm以下
中干し*					

ナガエツルノゲイトウに防除効果のある除草剤の有効成分を赤字で示しました。

～ナガエツルノゲイトウの侵入防止策～

ナガエツルノゲイトウの侵入が報告されている地域（環境省ウェブサイトなどで紹介）では、農地に侵入・定着させないよう、水利施設や水路、給水栓まわりなどをこまめに点検し早期発見に努めます。

侵入しやすい場所



① 給水栓

水と一緒に流入

給水栓口にネット袋等を取りつけ、ナガエツルノゲイトウ断片の侵入を防止



給水栓付近から定着



給水栓への収穫ネット取り付け例

回収したナガエツルノゲイトウは水気を切り、ゴミ袋に入れ固く口を結び、焼却処分してください（詳しくは地方環境事務所等にお問い合わせください）。

② 畦畔 刈払いで断片が拡散



除草剤中心の管理

茎葉処理型除草剤の効果的な散布時期は9月以降から霜が降りるまでの期間です。

↑ 刈払い管理でナガエツルノゲイトウが繁茂した畦畔

③ 農業用水路・貯水池

定着して次の拡散源に

遮光率100%の耐水シートを敷設



シート装着例

↑ 耐久性のあるシートを選んでください。



農水省ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアルはこちら



お問い合わせはこちら

外来種駆除活動には農林水産省の多面的機能支払交付金などが利用できます。市町村の担当窓口にご相談ください。農林水産省ウェブサイト「ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル」が公開されています。併せて参考にしてください。

(問い合わせ) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 お問い合わせページ (右QRコードより)